

令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	公民	単位数 (コマ数)	2単位 (3コマ)	履修年次	3年次
科目名	政治経済	履修	必修修(選択)	開講	通年
教科書	政治・経済(東京書籍)	副教材	2025ズームアップ政治・経済 資料(実教出版)		
1 学習の目標					
「公共」の科目では、政治や法、経済などについて、「公共的な空間と私たちとの関わり」という視点から学習します。「政治経済」では日本や世界の政治や経済について広い視野で物事を見たり考えたりしながら学習をします。					
2 学習の方法					
・日ごろからメディアで報道される時事的な課題に関心を持ちましょう。					
・ただ用語を知るのではなく、概念を理解しながら学習しましょう。					
・教科書はもちろんですが、資料集の図表も大切にしましょう。					
・受験生は教科書や資料集で確認しながら模試の振り返りをしましょう。					
3 評価について					
①評価の観点					
知識・技能	○社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。				
思考・判断・表現	○合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会				
主体的に学習に取り組む態度	○よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向				
②評価の方法					
材料	定期 考査	ノート	プリント	話し合い	評価方法
観点					
知識・技能	○		○		左記の○のうち、定期考査を重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、状況と努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
思考・判断・表現	○		○	○	左記の○のうち、定期考査をやや重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
主体的に学習に取り組む態度		○	○	○	左記の○を総括しA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
4 その他					
・授業の進度により年間計画が変更になる場合があります。					

5 単元の目標・評価						
単元名	第1編 現代日本の政治と経済 第1章現代日本の政治					
単元の目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現実社会の諸事象を通して現代日本の政治に関する概念や理論などを習得し、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述することができるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア)政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めているか。(イ)現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けているか。		(ア)民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現しているか。(イ)政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現しているか。		(ア)知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うようとしているか。(イ)粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしているか。	
単元名	第1編 現代日本の政治と経済 第2章現代日本の政治 第3章現代日本の諸課題					
単元の目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現実社会の諸事象を通して現代日本の経済に関する概念や理論などを習得し、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述することができるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア)経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めているか。(イ)現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けているか。		(ア)経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現しているか。(イ)市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現しているか。		(ア)知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うようとしているか。(イ)粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしているか。	
単元名	第2編 グローバル化する国際社会 第1章現代の国際政治					
単元の目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現実社会の諸事象を通して現代の国際政治に関する概念や理論などを習得し、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述することができるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア)国際社会の変遷、人権、国家主権、領土(領海、領空を含む。)などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めているか。(イ)現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けているか。		(ア)国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現しているか。(イ)国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現しているか。		(ア)知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うようとしているか。(イ)粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしているか。	
単元名	第2編 グローバル化する国際社会 第2章現代の国際経済 第3章国際社会の諸課題					
単元の目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現実社会の諸事象を通して現代の国際経済に関する概念や理論などを習得し、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題の解決に向けて政治と経済とを関連させることができるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア)貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めているか。(イ)現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けているか。		(ア)相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現しているか。(イ)国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現しているか。		(ア)知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うようとしているか。(イ)粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしているか。	

6年間計画					
学期	月	単元	項目	予定時数	考査
前期	4	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治	1節 民主政治の基本原理 2節 日本国憲法の基本原理	9	前期中間考査
	5		3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	11	
	6	第2章 現代日本の経済	1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	12	前期末考査
	7		3節 日本経済の発展と現状	13	
	8		4節 福祉社会と日本経済の課題		
	9	第3章 現代日本の諸課題		9	後期中間考査 後期期末考査
	10	第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治	1節 国際政治のしくみ 2節 複雑化する国際政治と日本	13	
	11	第2章 現代の国際経済	1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済と課題	13	
	12	第3章 国際社会の諸課題		10	